



## 山頂を目指して!

今から200年ほど昔、深谷区でなだれの被害が続いたため、仏像を高尾山の山頂に祭りよもぎ団子を備えたところ、なだれが起きなくなったとされ、以来、毎年山頂でお祭りが行われています。

当日は、大人に混じり、幼児と小学生30人ほどが山頂を目指して登りました。

### CONTENTS

- 災害時要援護者支援
- 行革の見直し
- 県立大学との連携
- HOT話題

## 歴史の散歩道

(89)

### 玉泉坊と連歌

玉泉坊とは坊院名であると同時に人物名でもある。玉泉坊が登場したのは、文明十二年(一四八〇)である。この年の七月、越前守護の斯波義良(義寛 義敏の子)と、その被官で守護代である朝倉孝景との間に、金津付近で合戦があり、朝倉方は多くの死者を出した。この時、平泉寺・豊原寺の衆徒は斯波義良方で、豊原寺に陣を構えた。ところが、玉泉坊と大聖院は平泉寺衆徒であったにもかかわらず、斯波方ではなく朝倉方についたために、討死したのであった。しかし翌年、朝倉孝景が越前を平定し、「豊原・平泉寺心替わりて、朝倉方になりし」ということになった。

それから八十年後の永禄三年(一五六〇)連歌師宗養は、宝光院と玉泉坊に請われ平泉寺にやってきた。宮内庁書陵部所蔵の「宗養発句付句」によれば、この時玉泉坊の坊院において、「玉泉坊所望二」という詞書をつけて「まなくひく をことの玉の泉かな」と詠んだとある。玉泉坊は宝光院と同じように多くの衆徒を招いて連歌の会を催した。宗養が宗匠となって発句(五・七・五)を詠み、玉泉坊は亭主として脇(七・七)の句を詠んだ。



冬の御手洗池の影向岩

「小琴」で、夢のことである。「玉の泉」は、「玉のように清らかに透き通った泉」(日本国語大辞典)という意である。平泉寺白山社にお詣りし、眼に惹かれたのは、汚れた心を洗ってくれるように奏でている、夢の音がする玉のように透き通った泉であった。つまり、玉泉坊の院坊の泉というより、御手洗池すなわち平泉寺の語源となった平泉を詠んだのであろう。この発句の背景には、白居易(白樂天)が「靈巖寺の上院に宿す」と題して詠んだ漢詩の一節である、「泉の声の我が心を洗ふのみあり」(川口久雄訳注『和漢朗詠集』 講談社学術文庫)という中世人の教養があった。

(勝山市文化財保護委員 佐野光臣)

〔訂正〕四月号で、「竹」は「丈」の誤りと、解釈しましたが、「石の竹」は、石竹でナデンコのことです。

### 人口の動き

	3月末現在	自然動態		社会動態		4月末現在	月間増減
		出生	死亡	転入	転出		
男	12,955人	5	17	31	48	12,926人	- 29人
女	14,161人	3	7	34	57	14,134人	- 27人
合計	27,116人	8	24	65	105	27,060人	- 56人
世帯数	8,379世帯					8,380世帯	1世帯

▼5月に入り日に日に暖かくなる中で、山々の木々もまぶしいばかりに色づいてきました。里では、鯉のぼりが泳ぐ中、田植えも行われています。とてもさわやかな季節となりました。▼先日、地元深谷区や野向町の皆さんと初めて高尾山に登ってきました。汗をかいて登った山頂から眺める光景は、非常にすばらしく、とても感動しました。▼本年度から新たに、ふるさとげんき発展事業が始まります。今回もどのように展開されていくのか、とても楽しみです。

### 編集後記

### 交通事故発生状況

※高齢者=65歳以上

件数内訳	平成20年4月末	前年比
総件数	172件	-9
人身事故(うち高齢者)	21件(1)	-16(-3)
死者(うち高齢者)	0人(0)	0(±0)
傷者	22人	-20
物損事故	151件	7

### 5月の納税

- 軽自動車税▶全期
- 納期限▶6月2日(月)
- 口座振替▶5月26日(月)

### 広告

広告の申し込みは秘書・広報課まで